

井川町教育委員会 7月定例会会議録

1. 日時 令和6年7月29日（月）午前10時30分～午後11時40分

2. 場所 井川町農村環境改善センター

3. 出席委員

教育長	六郷博志
委員	小武海文恵
委員	遠藤勇人
委員	佐藤聡子
委員	齋藤正仁

4. 会議に出席した事務局職員

事務局長	湊和樹
事務局次長	若狹善友

5. 会議

(1) 議案

議案第11号 令和7年度中学校教科用図書採択について

(2) 報告事項

- ① 中学校全県総体等の結果について
- ② 部活動地域移行協議会（7/22）について
- ③ 夏休み体験事業「にほんかいたいけん会」（8/7）について
- ④ 全県市町村教育長会議資料（9/5）について
- ⑤ その他教育委員会・公民館・学校関係行事について

(3) その他

6. 会議の経過

事務局長 今定例会の議事録署名員に佐藤委員、齋藤委員を提案。
（全員提案を了承）

進行を教育長に求める。

教育長 議案に入る。議案第11号令和7年度中学校教科用図書採択について説明する。

(男鹿潟上南秋の教科用図書採択協議会にて令和7年度使用する中学校教科用図書の採択を行った。)

- 教育長 別紙のと通りの採択結果を承認してよろしいか。
- 全員 異議なし
- 教育長 議案第11号は承認されました。
- 教育長 ①中学校全県総体等の結果について事務局に説明を求める。
(学校全県総体等の結果について説明)
- 事務局長
- 教育長 ②部活動地域移行協議会(7/22)について事務局に説明を求める。
(町の基本方針について、周辺町村の状況、今後の町の取り組みについて説明)
- 事務局長
- 齋藤委員 外部指導者は井川町在住者に限定されるのか。
- 教育長 限定はされない。先行移行している市町村で他市町村在住者に委嘱しているケースもあった。
- 委員 例えば吹奏楽部の指導を学校の先生が実施するという希望があれば、手当はどうなるのか。
- 教育長 市町村で定める謝金の額を支払うことになるが、他の町の事例を見ると、スポ少の指導者に支払う額に準じているようで、通常教員に支払われる手当の額よりも少なくなるようだ。
- 教育長 ③夏休み体験事業「にほんかいたいけん会」(8/7)について、事務局に説明を求める。
- 事務局長 (1~3年生の43名が参加する。学生サポーターとして3名から協力いただく。)
- 委員 小さい子ども達相手なので、引率の人数はこのくらいで良いと思う。大学生や高校生がこのような体験をするのは良いことだと思う。
- 教育長 ④全県市町村教育長会議資料(9/5)について説明する。
「幼保小の円滑な接続の推進について」が今回の議題となっており、連携の工夫やスタートカリキュラムを情報提供する。また、今後作成予定の架け橋期カリキュラムについては、学校になかなか馴染めない子どもへも対応できるようなものを作成していきたいと考えている。
- 委員 遊んで過ごすこどもセンターと勉強をする学校とでは環境は全く違う。
- 教育長 まずは学校のスタートカリキュラムを見直して園から学校にスムーズに馴染めるようにしたい。低学年で発生している教室からの飛び出しや暴言等の問題行為をなんとかしたいと思っている。
- 教育長 ⑤その他教育委員会・公民館・学校関係行事について事務局に説明

を求める。

事務局長 (その他教育委員会・公民館・学校関係行事について説明)